

兵庫県医師連盟ニュース



発行所 兵庫県医師連盟

〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11

Tel 078-231-4114

http://www.hyogo-ishirenmei.jp

編集責任者 川島 龍一

index

2015〈第7号〉

- 連盟委員長挨拶
- 第2回目医連医政活動研究会経過
- 兵庫県医師連盟定時委員総会議決事項
- 自民党との県予算編成に対する要望の回答と懇談会
- 郡市区医師連盟だより
- 女性医師支援の現状～共同体としての男女共同参画へ～
- 平成27年統一地方選挙(兵庫県)結果

医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟 委員長 川島 龍一

療養病床の地域差の是正と在宅への誘導)が強調されています。更に外来医療費についても都道府県毎の医療費の水準や医療提供体制

安倍内閣は、「経済財政運営と改革の基本方針2015(骨太の方針)」の中で、これまでの3年間の社会保障費の実質的な増加が高齢化による増加分に相当する伸び(1.5兆円程度)となっていることを踏まえ、その基調を平成30年度まで継続していくこと(年間5000億円の

の目標設定のみならず、医療機関の適正配置までも含めた医療費適正化計画の策定が行われようとしていますし、かかりつけ医(政府は家庭医・登録医を想定)の要件設定や診療報酬上の対応、外来時の定額負担についても検討することが強調されており、戦前のような窮屈な管理医療体制を敷く意図が明白になってきております。

我が国の国民皆保険制度の根幹であるフリーアクセスと自由開業制を守り、国民への公平・安全・高質な医療提供体制を確保するためには国会での発言力を増大させねばなりません。来年の参議院選挙では私たちが推す自見はなこ氏を高得票数で当選させねばなりません。医師連盟の皆様方が危機感を抱き組織力を結集すれば前回の羽生田議

員の得票数の倍増はおろか、更なる高得票も不可能ではありません。そうなれば自見氏のみならず、羽生田・武見現議員、更には横倉委員長の発言力もかなり増大するものと思われま

第2回目医連医政活動研究会経過

第2回目医連医政活動研究会

が、平成27年4月5日(日)、県医師会代議員会終了後午後5時より県医師会館2階大会議室にて、参加者約200名にて開催されました。まず羽生田参議院議員より、約2年間の議員活動の報告がありました。国民皆

保険を堅持することを第一とする考え方から、これに反する政策には断固反対の立場を示した事などを報告されました。しかし、国会や政府部内では、発言力を

持つには、まず当選回数と得票数である。舛添現東京都知事が当選一期目でお送りしました。



持、「地域保健医療活動の強化」、「平等で安全な医療提供体制の確保」並びに「医療経営基盤の確立」等各種施策の実現のため政治活動を展開する。

兵庫県医師連盟定時委員総会議決事項

(1)平成27年4月5日(日)

に兵庫県医師会館で開催し、「平成27年度事業計画」、「平成27年度予算」の2議案について、原案通り可決されました。

〈平成27年度事業計画〉

医師の政治力強化を図り、もって「国民皆保険制度の堅



(医療政策勉強会等の開催)
③兵庫県議会主会派に対する医療政策実現化に向けての県予算化要望。

れたのは、100万票を超える得票を獲得できたからである。などの発言が印象に残りました。続いて自見はなこ日医連参

与が講演されました。自見氏は、来年の参議院選挙では日本医師連盟推薦候補として立候補予定である。生い立ち、経歴、立候補の動機などを話されました。

国民皆保険堅持、国民の医療を守るためにも、自見氏の大量得票、上位当選が求められます。

最後に羽生田、自見両氏の健闘を祈り、われんばかりの拍手を

目でお送りしました。

1) 県選出国會議員はマンツーマン方式による。

2) 郡市区医師連盟における地方自治体首長、選挙区県議会議員、市町議会議員へのロビー活動に対する支援。

②兵庫県議会議員との医療政策に関する意見交換会の開催。

③医師連盟ホームページの紙面の充実。

④医師連盟ニュースの企画・編集、定期発行並びに関係団体への配布。

⑤選挙活動の展開。

1) 各選挙における医師の政治力(集票能力)を示すため、各地区(小選挙区等)での医師連盟推薦候補者の支援活動を強力に展開する。

2) 日医連推薦議員(羽生田たかし氏)及び推薦候補者(自見はなこ氏)との講演会の企画。

二. 広報活動
県民並びに関係団体に対して、強く医師連盟の理念と医療政策を訴え、理解を得るよう努め、広く県民等を巻き込んだ世論の形成を目指す。

①フォーラム等県民並びに関係団体等参加の集会開催。
②医師連盟ニュースの企画・編集、定期発行並びに関係団体への配布。
③医師連盟ホームページの紙面の充実。
三. 対内活動
医師連盟会員への医療政策の(二面について)



平成27年3月17日(火)午後2時40分から、県庁3号館4階の自民党議員フロアにおいて、平成26年9月8日に県医師会から出された平成27年度予算編成に対する要望の回答と懇談会が開催された。

自民党との県予算編成に対する要望の回答と懇談会
兵庫県医師連盟執行委員 渡辺志伸

自民党議員からは伊藤傑(須磨区)、井上英之(加古川市)、上山隆弘(たつの市)、川井田清信(伊丹市)、北浜みどり(灘区)、幣原みや(台屋市)、原吉三(中央区)、原テツアキ(淡路市)、春名哲夫(宍粟市)、藤本百男(加東市)、山本敏信(高砂市)の総勢11名、県医師連盟からは田中良樹常任執行委員、渡辺志伸執行委員、事務局多田が出席した。開会にあたり藤本百男自民党県議団健康福祉部副部長、田中良樹兵庫県医師連盟常任執行委員から挨拶を頂き、続いて県医師会

からの要望(2事項)に対する回答、懇談が行われた。
①救急安心センター事業(救急医療電話相談事業)について
平成22年12月に消防機関や医療機関、県医師会等の関係機関と意見交換を行ったために「救急医療相談体制に関する懇談会」を立ち上げ、救急安心センター事業を含めた医療相談の充実方策等について協議を行ってきた。県や市町の既存事業との関係や、医療と消防の連携等解決すべき課題が残っている。平成26年度から新たな財政支援制度を活用して、県医師会が中心となる実施に向けての検討事業が開始されたことになったが、懇談会で明らかになった課題解決に向けた議論の深まりを期待しつつ、検討事業を支援していくとの回答があった。これに対して田中常任執行委員より、東京、大阪で既に実施されている実例があること、課題は行政の縦割りでありこれを乗り越えていくことも県民のためという視点から検討し、実現を図っていく必要があることなどの意見が述べられた。

②風しん予防接種に対する兵庫県公費助成制度継続について
今後、国の「風しんに関する特定感染症予防指針」にもつき、定期予防接種率のより一層の向上を目指すとともに、妊娠を希望する女性や妊婦の周囲の感受性者を中心に、成人の感受性者に対する意の予防接種の勧奨を行っていく。また、任意の予防接種公費補助については、全国的な取り組みが必要であることから、引き続き国に対して財源措置の要望を行っていくとともに、再び風しんの大流行が危惧されるような場合には、県単独の予防接種への補助も含め対策を検討していくとの回答があった。これに対して渡辺執行委員より、終息したときに中長期の対策を積極的に、次の流行を抑える必要がある。継続して補助事業実施を要望するとの意見が出された。

また、麻しんについても現在ヨーロッパで流行が広がっており、国内でも輸入株の小流行が発生していることに対して、油断できない状況であるとの意見があり、今後とも感染症危機管理についても協力してほしいとの要望が出され、県民の健康支援に対して相互の協力関係を確立し終了した。

郡市区医師連盟だより

【神戸市医師連盟】
平成25年7月21日での第23回参議院議員選挙、平成26年12月14日での第47回衆議院議員選挙におきまして、与党・自民党・公明党圧勝、民主党惨敗の結果、衆参のねじれ状態がなくなったことにより安倍政権の力が増大し、今は正に官邸主導の政治が行われています。アベノミクスの第三の矢・成長戦略、地方再生に則した日本再興戦略では、規制緩和のターゲットが医療・介護、農業であることが明言されています。その中でも医療費適正化の考えの下、平成27年3月に出されました地域医療構想策定ガイドラインでは、大病院に入院させて治療・終末を迎える集中型でなく、地域単位での分散型の医療提供体制(在宅医療へのシフト)を推し進めようとしていきます。神戸市医師会、神戸市医師連盟はこのような中央情勢の動向を踏まえ、国主導で誘導されて医療を歪めないように、一般民間病院との連携を大切に住民本位の地域医療



提供体制を考え、神戸市行政、神戸市会議員団等との話し合いを行っております。
(1) 神戸市地域医療推進協議会と神戸市会議員団との懇談会
この協議会は三師会、神戸市第二次救急病院協議会、神戸介護老健施設協会、難病団体連絡協議会、身体障害者団体連合会、重度心身障害児(者)父母の会、認知症の人と家族の会、こども会連合会、兵庫県看護協会等18団体で構成されています。定例の協議会の他に、神戸市会議員団と与党4会派(民主こづ政策議員団、公明党神戸市会議員団、神戸市会自民党神戸議員団、自由民主党神戸市会議員団)との懇談会を毎年行い、神戸市の医療・介護・福祉行政に各団体からの要望を組み入れてもらえるように監視して頂きたい点を要望、(ii) 歯科医師会からは「35歳・60歳・70歳節目の歯周疾患健診実施拡大」を、(iii) 薬剤師会からは「全会員薬局への電子版お薬手帳配備に対する



ように話し合っています。
平成26年度は12月18日、神戸市医師会館3階市民ホールで開催しました。

補助」を、(iv)看護協会からは「病院・福祉施設・訪問看護等、様々な領域で働く看護職の連携強化のためのネットワークの整備等」が要望され、(v)介護老健施設協会からは「介護処遇改善交付金制度」の継続が要望されました。(vi)難病連からは①災害時での要援護者支援に関する具体的施策について、②

肺炎ウイルス検査の個別勧奨等については、(vii)身障者連合会からは「高齢身体障害者対応の特別養護老人ホーム建設の推進」を、(viii)重度心身障害者父母の会からは「重症の心身障害児(者)の受け入れ医療機関の整備」等を要望されました。各団体からの要望に対して、与党4会派の議員団はそれぞれの要望に対して、担当別に積極的な対応を表明され、充実した懇談会が取り行われました。

(2) 神戸市三師連盟と神戸市議員団との懇談会
平成27年4月12日に行われます第18回統一地方選挙(兵庫県議会議員、神戸市議会議員選挙)に向けて、久元市長を支える現役の神戸市議員団と与党4会派

この懇談会・懇親会を、2月19日、神戸ポートピアホテル「大輪田の間」で開催致しました。神戸市医師連盟から神戸市医師連盟役員他、9区の各支部長、副支部長を含めて35名が出席し、歯科医師連盟から16名、薬剤師連盟から23名、三師連盟事務局から7名、計81名が出席されました。一方、議員団からは民主こうべ政策議員団(民主党)10名、公明党神戸市議員団11名、神戸市会自民党神戸議員団(自民党神戸)12名、自由民主党神戸市議員団(自由民主党)11名の計44名が参加されました。置塩医師連盟委員長、住谷歯科医師連盟委員長、伊藤葉劑師医師連盟委員長の挨拶の後、池田りんたろう民主党団長、吉田謙治公明党団長、浜崎為司自民党神戸団長、吉田基毅自由民主党団長から各会派の議員紹介が行われ、八田晋

医師連盟副議長の乾杯後、各区分別に分けられたテーブルで懇談されました。懇談後、山川雅義神戸市医師連盟議長の前頭で、

出席された議員全員の前で、祈念した「ガンバローコール」を行い、会を終了致しました。



しかし、4月の統一地方選挙の結果は公明党12名、自由民主党9名、自民党神戸3名、民主党3名の計27名当選という結果になりましたが、神戸市においても維新の党の躍進(10名当選、内、初当選7名)、民主党惨敗が目立った結果となりました。

(3) 自見はなこ日本医師連盟参与、羽生田たかし参議院議員との懇談
神戸市医師連盟臨時委員総会が平成27年4月4日(土)に開催され、自見はなこ日本医師連盟参与にご参加、ご登壇頂きました。自見氏は自らの生い立ち、医師を志すように

なった経緯、国民皆保険制度を遵守することの重要性から、第24回参議院議員選挙に立候補し、議員を志すに至った経緯などに穏やかな口調で話されました。



翌、4月5日(日)には、自見はなこ氏にご同行願ひ、午前10時より灘区・片山キッズクリニック、中央区・桑原外科、長田区・新長田眼科病院を巡回訪問し、午後より北区・真室病院、西区・西神戸医療センター、西区・西部休日急病診療を巡回訪問して頂き、神戸市内の医療現場を現状視察して頂きました。



同日夜の長田区医師会主催の「平成27年春の神戸市全区分会長・副会長会」終了後の懇談会には、自見はなこ氏に加えて羽生田たかし参議院議員にも参加して頂き、充分な意見交換、懇親がなされました。

全国的医療機関を巡り、地区医師会や各種医療機関の先生方のお話を伺う機会が増えた。人口密集地の都市型の地域もあれば過疎化が進む地域もある。都市型では核家族が多く、家庭との両立を目指す女性医師は保育園や児童保育やベビーシッター等を活用しながら働き続けることを目指す場合が多いが、地方に行けば違う事情も垣間見られる。土地も広く一軒家に三世代で同居し祖父母や親戚が子供の面倒を見ることが定着している地域や、医師不足で医師の過重労働が重たい課題となっている地域もある。

近年、我々女性医師数は確実に増加している。全医師に占める割合は、昭和55年の10%が、平成24年では19.7%になった。年代が若いほどその割合は

女性医師支援の現状 〜共同体としての男女共同参画へ〜



日本医師会男女共同参画委員会委員
日本医師連盟参与 自見はなこ

は、「男女共同参画社会」は「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に

政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」としている。政府はこれまで内閣府に男女共同参画局を設け基本計画や指針等を出し、行政と地方自治体が果たす役割を定め、男女共同参画社会実現に向けた様々な取組みを行ってきた。日本医師会でも平成18年度から男女共同参画委員会の活動と、女性医師支援センター事業が開始され、医学生・研修医研修や医療機関管理者向け研修等のソフト面の支援も積極的な取組みを続けている。

増加し、平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査によると20代医師に占める女性医師の割合は35.5%となっている。

一般的に女性が家族形成期にあたる30代に就業率が低下しその後緩やかに回復することはない。M字カーブ」として知られている。女性医師の場合は、そのM字カーブの回復が一般女性と比較すれば高い値を示すものの課題は多い。日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」(平成21年3月)では、女性医師が休職、離職する理由は、出産が70%、次いで育児が38.3%であるが、育児休暇の取得に至らず離職するケースが多いのが特徴である。職場への負担を気にして育児休暇が取りづらかったが理由の最多で、離職率は45%を超える。積極的なワークシェアや勤務医支援等、ライフイベントがあっても離職しなくつよい仕組み作りが進行中であるが、更なる取組みや社会全体を含めた意識改革が求められている。

このような取組みが行われつつも男女共同参画は次の段階に(四面につき)

増加し、平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査によると20代医師に占める女性医師の割合は35.5%となっている。

一般的に女性が家族形成期にあたる30代に就業率が低下しその後緩やかに回復することはない。M字カーブ」として知られている。女性医師の場合は、そのM字カーブの回復が一般女性と比較すれば高い値を示すものの課題は多い。日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」(平成21年3月)では、女性医師が休職、離職する理由は、出産が70%、次いで育児が38.3%であるが、育児休暇の取得に至らず離職するケースが多いのが特徴である。職場への負担を気にして育児休暇が取りづらかったが理由の最多で、離職率は45%を超える。積極的なワークシェアや勤務医支援等、ライフイベントがあっても離職しなくつよい仕組み作りが進行中であるが、更なる取組みや社会全体を含めた意識改革が求められている。

このような取組みが行われつつも男女共同参画は次の段階に(四面につき)

(三面より)
入っていると感ずる。日本医師会男女共同参画委員会が行った「男性医師の男女共同参画についての意識調査」(平成26年2月)の結果がそれを示唆している。それは男女問わず長時間労働をしている勤務医の過酷な勤務実態であったり、職場で理解を得るのに悩む姿であったり、介護中の男性医師にもワークシェアをという声であったりした。医師としてどうあるべきか、そして人間としてどうあるべきか。子育てしている家庭であれば子供の健やかな成長にも十分に配慮した上で、そして介護であれば親への介護を家族と社会全体でどう支えていくのかというミクロとマクロの視点が入り混じる。

これら男女共同参画の諸課題は時代とともに「家庭やジェンダー」という枠を超えて相互に密接に関わりあい、共同体としての私たちの社会のあり方そのものが再び変容しようとしているようにも感じているところである。公益に資する我々医師としての持てる力が最大限発揮される社会になるように願ってやまない。

平成27年統一地方選挙 (兵庫県) 結果

本年4月に実施された平成27年統一地方選挙において、県医師連盟では各郡市区医師連盟からの推薦を受けて各選挙での候補者推薦を行いました。

兵庫県議会議員 4月12日(日)

推薦候補者 39名 当選 37名 (内無投票当選9名)

— 当選された方々 —

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 北浜みどり氏 (灘区・自) | 松本 隆弘氏 (明石市・自) |
| 原 吉三氏 (中央区・自) | 伊藤 勝正氏 (明石市・公) |
| 松田 一成氏 (兵庫区・公) | 北口 寛人氏 (明石市・無) |
| 芦田賀津美氏 (北区・公) | 内藤 兵衛氏 (西脇市多可郡・自) |
| 奥谷 謙一氏 (北区・自) | 釜谷 研造氏 (加古川市・自) |
| 越田 浩矢氏 (長田区・公) | 迎山 志保氏 (加古川市・無) |
| 加田 裕之氏 (長田区・自) | 岸本 一尚氏 (加古川市・公) |
| 伊藤 傑氏 (須磨区・自) | 岡 毅氏 (加古郡・無) |
| 島山 清史氏 (須磨区・公) | 山本 敏信氏 (高砂市・自) |
| 黒田 一美氏 (垂水区・民) | 竹内 英明氏 (姫路市・民) |
| 黒川 治氏 (尼崎市・自) | 五島壮一郎氏 (姫路市・自) |
| 川井田清信氏 (伊丹市・自) | 戸井田祐輔氏 (姫路市・自) |
| 中田 慎也氏 (伊丹市・無) | 上山 隆弘氏 (たつの市揖保郡・自) |
| 越田謙治郎氏 (川西市川辺郡・民) | 日村 豊彦氏 (豊岡市・自) |
| 北川 泰寿氏 (西宮市・自) | 小西 隆紀氏 (篠山市・自) |
| 栗山 雅史氏 (西宮市・無) | 浜田 知昭氏 (洲本市・自) |
| 野口 裕氏 (西宮市・公) | 原 哲明氏 (淡路市・自) |
| 吉岡 政和氏 (西宮市・自) | 永田 秀一氏 (南あわじ市・自) |
| 幣原 みや氏 (芦屋市・自) | |

神戸市議会議員 4月12日(日)

推薦候補者 26名 当選 25名

— 当選された方々 —

- | | |
|----------------|----------------|
| 北川 道夫氏 (東灘区・公) | 人見 誠氏 (北区・民) |
| 吉田 健吾氏 (灘区・自) | 軒原 順子氏 (長田区・自) |
| 高瀬 勝也氏 (灘区・公) | 浜崎 為司氏 (長田区・自) |
| 橋本 健氏 (中央区・自) | 平井真千子氏 (長田区・自) |
| 沖久 正留氏 (中央区・公) | 安達 和彦氏 (須磨区・自) |
| 菅野 吉記氏 (兵庫区・公) | 大井 敏弘氏 (須磨区・民) |
| 平野 昌司氏 (兵庫区・自) | 松本 周二氏 (須磨区・自) |
| 守屋 隆司氏 (兵庫区・自) | 向井 道尋氏 (須磨区・公) |
| 植中 雅子氏 (北区・自) | 村野 誠一氏 (須磨区・自) |
| 堂下 豊史氏 (北区・公) | 川原田弘子氏 (垂水区・民) |
| 徳山 敏子氏 (北区・公) | 大沢 和士氏 (垂水区・公) |
| 坊 恭寿氏 (北区・自) | 壬生 潤氏 (垂水区・公) |
| 五島 大亮氏 (北区・自) | |

西宮市議会議員 4月26日(日)

推薦候補者 9名 当選 7名

— 当選された方々 —

- | | |
|-----------------|------------|
| 上谷 幸美氏 (自)※医師会員 | 篠原 正寛氏 (自) |
| 大川原成彦氏 (公) | 八木米太郎氏 (無) |
| 坂上 明氏 (自) | 山田 増人氏 (公) |
| 雑古 宏一氏 (無) | |

— 推薦外での医師会員当選者 —

村上 博氏 (無)

芦屋市長選挙 4月26日(日)

— 推薦候補者 (当選) —

山中 健氏

姫路市長選挙 4月26日(日)

— 推薦候補者 (当選) —

石見としかつ氏

Profile

西宮市議会議員

かみ たに ゆ み

上谷幸美氏



【コメント】

昨日は、ご挨拶の場を頂き、有難うございました。
(5月13日(水)開催の兵庫県医師会理事会冒頭で当選御礼挨拶を頂きました。)
同じ医師として、日本の医療を守るため、医師連盟の主張に貢献できるよう努力して参ります。
今後共、よろしくお願ひ申し上げます。

平成27年5月14日

【略歴】

昭和48年10月1日 生まれ
昭和61年 西宮市立山口小学校 卒業
平成元年 西宮市立山口中学校 卒業
平成4年 川崎医科大学附属高等学校 卒業
平成10年 川崎医科大学 卒業
平成10年 神戸大学医学部附属病院第2外科入局、勤務
平成13年 相愛会 相原第2病院 勤務
平成20年 寿楽会 大野記念病院 勤務
平成23年 幸泉会 高田上谷病院 (現在勤務)

【資格】

医師免許
日本整形外科学会専門医
日本リウマチ学会専門医
日本温泉気候物理医学会認定医
日本舞踊 音羽流 名取 音羽菊美弥幸
未生流 庵家 師範 上谷幸美未圓

【家族】

夫、子ども(4歳)